

注目ポイント！

- 「蔵の街とちぎ」シンボルゾーンを最大限に活かして、国際的な観光地へ。
- 住民、民間事業者、行政の3者が協働して歴史的町並みを整備創出。

観光客数が約161万人から約200万人に！
(平成3年) (平成17年)



巴波川沿いの町並み

コラム

江戸から明治にかけて、日光例幣使街道の宿場町として、また、巴波川を利用した舟運による商人町として繁栄した。江戸末期に4度の大火にみまわれ、まちの大半を焼失したが、焼け残った蔵づくりの建物は、改めてその防火性が見直された。

栃木にとって、『蔵』づくりの建物は、かけがえのない歴史的、文化的財産であり、蔵と巴波川を活用した個性豊かなまちづくりを目指して取り組んでいる。

これまでの経緯

- | | |
|-------------|--|
| 昭和38年(1963) | 初めて3万匹の鯉を巴波川に放流する。 |
| 昭和63年(1988) | 巴波川・蔵のまちルネッサンス「栃木市誇れるまちづくり計画調査報告書」を策定。 |
| 平成2年(1990) | 「栃木市歴史的町並み景観形成要綱」を制定する。
大通りアーケードを撤去し、大通りシンボルロード化に着手する。(～平成8年) |
| | 巴波川綱手道整備に着手する。(～平成8年) |
| 平成4年(1992) | 蔵の街広場が完成する。 |
| 平成6年(1994) | とちぎ山車会館が完成する。 |
| 平成7年(1995) | 都市景観大賞「景観100選」を受賞する。 |
| 平成8年(1996) | ウォーキングトレイル事業に着手する。(～平成12年) |
| 平成13年(2001) | 例幣使街道において街なみ環境整備事業に着手する。 |
| 平成15年(2003) | とちぎ蔵の街美術館がオープンする。 |
| 平成17年(2005) | 巴波川沿川家並が手づくり郷土賞(大賞部門)を受賞する。 |

主な取り組み

歴史的町並み景観形成

旧日光例幣使街道や巴波川周辺を歴史的町並み景観形成地区に指定。色彩、セットバック、看板等に関するルールを定めた。住民等の協力により、通りの蔵並みを被い隠していたアーケードや歩道橋を撤去、電線類も地中化。

栃木祭りの山車も通りやすくなり、個性豊かで市民が誇りとする町並み景観も形成。



蔵の街並み



巴波川沿いで行われる清掃活動

巴波川沿いで行われる清掃活動

「蔵の街とちぎ」のシンボル巴波川。観光客の散策路であり、訪れる人々に憩いと安らぎ、潤いを与える観光拠点でもある。

環境美化のため、地元3団体が主催し巴波川支流沿岸の25自治体の協力を得て年3回、一斉清掃を実施。川に対する市民の思いも深まることに。

町並みウォッチング

観光ボランティアの説明を聞きながら、個性豊かな町並みをゆっくりと歩く、歴史的町並みウォッチングを実施。

隠れた景観の再発見や、歴史的景観に対する理解向上にも寄与。



観光ボランティアによる案内活動

蔵を活用した観光案内所

かつての見世蔵からなる土蔵群を市が改修し、観光案内所をはじめ、蔵座敷、多目的ホール、物産店舗、蔵の資料館、食事店舗などとして活用。

「蔵の街とちぎ」の観光拠点に。



とちぎ蔵の街観光館

問い合わせ先

- 栃木市経済部商工観光課
Tel : 0282 - 21 - 2543 <http://www.city.tochigi.tochigi.jp>
- 栃木市観光協会
Tel : 0282 - 25 - 2356 <http://www.kuranomachi.jp>